

「税金の制度」について知っておこう

ナレーション

皆さんは、職場やアルバイト先で、こんなことを感じたことがありますか。

会話

オウ：給料のことなんですけど・・・。

先輩社員：どうしましたか。

オウ：最初に聞いた給料より、ずいぶん少ないんです。

オウ：どうしてですか。

先輩社員：今、給与明細を持っていますか。

オウ：はい、今日、もらったばかりです。

ナレーション

こんな紙を見て、疑問に思ったことがあるかもしれません。

色々な数字が並んでいますね。

ここに「税」という漢字があります。

「税金」の意味です。

給料から、「所得税」、「住民税」が引かれています。

「所得税」は所得のある人が、国に納める税金です。

「住民税」は住んでいる県や市、区などに納める税金です。

これらの税金の金額は、その人の1年間の所得に合わせて決まります。

日本では、給料が支払われる前に、会社があなたの税金がいくらかを計算して、給料からあらかじめ

その金額を差し引き、あなたの代わりに税金を納付することが多いです。

これを「源泉徴収」と言います。

会話

店長：はい、これ。

店長：源泉徴収票。

店長：去年働いてもらった分のお給料と納付済みの税金が書いてあります。

ナレーション

これが「源泉徴収票」です。

12月の終わりから1月にかけて、勤務先からもらいます。

会社は1年の終わりに「年末調整」と言って、1年間に支払った給料が全部分かってから、税金を計

算し直して、税金を払いすぎたり、払い足りなかったりすることのないように調整をします。

会話

店長：アンジェラさん、会社でも働いてますよね。

アンジェラ：はい。

店長：そしたら、たぶん、確定申告しなきゃなりませんね。

店長：去年は、カフェの仕事もたくさん手伝ってもらっちゃったしね。

アンジェラ：確定申告…。

アンジェラ：やったことないんですけど、どこに問い合わせたらいいですか。

店長：住んでいる所の税務署に問い合わせれば分かると思います。

自分で「確定申告」をしなければならない場合や、した方が良い場合など、分からないことがあったら、自分の住んでいる地域の「税務署」に問い合わせしてみましょう。

「所得税」や「住民税」のほかにも、わたしたちは、「消費税」や「自動車税」「固定資産税」など、色々な税金を払っています。

それらの税金は、わたしたちの住んでいる地域の安全や、道路や建物、子ども達の教育などのために使われています。

気持ちの良い生活が送れるように、みんなで協力していきたいですね。